

9 関係文献

柳沢一男編『板付周辺遺跡調査報告書(9)』(福岡市埋蔵文化財調査報告書第98集)(一九八二年)

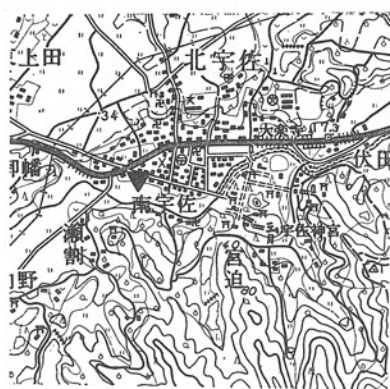
(柳沢一男)



高畑廃寺出土墨書土器

大分・藤田遺跡

- 1 所在地 宇佐市大字南宇佐字藤田
- 2 調査期間 一九八二年(昭57)七月～十二月
- 3 発掘機関 宇佐市教育委員会
- 4 調査担当者 林 一也・小倉正五
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の時代 平安～室町時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(宇佐)

本遺跡は、宇佐神宮より西へ四五〇m離れた谷底平野に立地する。遺跡の北側には勅使街道と呼ばれる道路が東西に延びており、その東の端は神宮境内に占地する天平十年(七三八)創建の弥勒寺西門跡に通じている。近年、この道路の南側において圃場整備事業に伴う発掘調査が実施され、宇佐神宮の主要参道に面した集落跡の一端を明らかにすることができた。

